

文化いせさき

第14号



「粕川の鯉のぼり」 撮影者 秋山 嘩

伊勢崎市文化協会

令和7年度 伊勢崎市文化協会事業日程計画



伊勢崎市文化協会では、一年間を通して下記のような行事を行います。
各期とも入場無料ですので、皆様お気軽にご来場ください。



期別	開催日	事業名	会場
—	4月6日(日)	華蔵寺公園花まつり 郷土芸能発表会	華蔵寺公園野外ステージ
第1期	6月21日(土)・ 22日(日)	華道・文学部門	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 展示ロビー・一般展示室
	6月22日(日)	民謡民舞部門	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 大ホール
	6月27日(金) ～29日(日)	書道部門	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 小ホール・展示ロビー・一般展示室
	6月29日(日)	歌謡部門	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 大ホール
	8月31日(日)	諸芸部門	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 大ホール・和室・一般展示室
第2期	9月5日(金) ～7日(日)	美術部門	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 展示ロビー・一般展示室
	9月7日(日)	洋舞部門	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 大ホール
	9月7日(日)	茶道部門	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 茶室・和室
	9月27日(土)・ 28日(日)	いせさきまつり 郷土芸能発表会・民踊流し	おまつり広場 外
第3期	11月15日(土)・ 16日(日)	自然部門	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 展示ロビー・一般展示室
	11月15日(土)	音楽部門	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 大ホール
	11月16日(日)	郷土芸能部門	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 大ホール
第4期	3月20日(金・祝) ～22日(日)	写真部門	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 第1展示室
	3月21日(土)	吟剣詩舞部門	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 小ホール
	3月22日(日)	邦楽舞踊部門	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 大ホール



文化協会ホームページ
はコチラから



©ISESAKISHIBUNKA
文化協会 Instagram
はコチラから

編集後記

伊勢崎市の文化活動も日常を取り戻して約二年、かつての活気を取り戻したようです。さらに、「キッズはじめて文化チャレンジ」にみられるように、他の市町に比べると積極的な取り組みが見られ、その効果が徐々に表れているように感じます。

筆者が「文化いせさき」の編集を担当して、もう八年となります。手前味噌ですが、その内容も益々充実してきており、先日も隣の知人から、「自分たちの町でもこのような広報誌を作りたいので相談に乗ってほしい」との話もありました。

このように、当伊勢崎市の文化活動は周辺からも注目されています。今後の会員皆様のさらなるご活躍を期待しています。

石田 英生 記

令和7年5月『第14号』発行

□発行責任者：新井 哲郎

□編集責任者：石田 英生

文化活動の魅力と継承

伊勢崎市文化協会

会長 新井 哲郎



伊勢崎市文化協会は約四千三百人の会員で構成され、十五部門に分かれて活動しており、令和六年度は、十五部門のすべての発表会・展示会を無事に開催することができました。これもひとえに、会員および関係各位のご尽力の賜物と存じます。

さて、昨今の社会情勢や環境の変化に合わせて、私たちの活動にも変化が求められているように感じます。これは文化の分野に限った話ではないと思いますが、私たちが長年にわたり築き上げてきたものを次世代にしっかりと受け継いでいくことが今後の課題となるでしょう。

その中で、当協会が近年取り組みを始めた「キッズはじめて文化チャレンジ」では、十部門の子供向け事業を開催し、私たちの文化活動を次の世代に伝える活動ができました。子供たちが舞台発表に向け、必死に練習する姿や、完成した作品を見る

輝かしい眼差しは、私たちにとっても刺激となり、自身の文化活動により一層の力が入ります。

文化芸術活動の魅力として、長年培ってきた技術や練習の成果を舞台や展示で発表する達成感があります。加えて、自身の発表を観覧していただき、見た人の心を感動させる喜びも魅力の一つです。現在市内で文化活動をしていて発表の機会を望む皆様、ぜひ入会をしていただき、この喜びを共有できたらと思います。

文化協会は会員の皆様が集い楽しむ場であると思います。芸能活動の更なる発展と充実を期待いたします。

結びに、伊勢崎市文化協会を支えてくださる賛助会員の皆様、また事務局に感謝申し上げ、今後も更なるご指導ご協力を願い、挨拶いたします。

た。午前中は観客も少なめのようでしたが、休憩後は次第に観客も増えて終わりのころには沢山の観客の姿が見られました。会場とステージの一体感が感じられました。

私は前橋市在住ですが、ご縁があり素晴らしい指導者と仲間恵まれ、伊勢崎市でコーラスを続けています。一ヶ月二回の「緋の郷」でのコーラスは、私にとってリフレッシュと癒しの時間になっています。初めての発表演奏は、スタートしてから三年目の平成二十五年度三月、伊勢崎市役所ロビーでの「ランチタイムコンサート」でした。今でも強く印象に残っています。以来、コロナ禍を経て現在に至っています。

お陰様で、今年も「伊勢崎市民音楽祭」に参加することができました。これからも、コーラスを続けたいと思っています。市民音楽



祭の開催にあたり、ご尽力いただきましたすべての方々に感謝いたします。今後も「伊勢崎市民音楽祭」がますます盛況になりますよう祈念いたします。ありがとうございました。



歌謡部門

九十歳になりました

荒井 通好

声のする方を見ると、屈託のない和やかな笑顔の吉田珂那子さんがおりました。昨年十二月のことでした。どこかのコマーシャルのような、「もう年だから」吉田さんからそんな言葉は聞いたことがありません。「今」を楽しんでいる姿は、どこか微笑ましく、私たちもそうありたいと思う今日です。



歌謡部門は年二回の発表会を開催しています。一回目は令和六年六月三十日(日)に、二回目は令和七年一月十九日(日)に開催しました。更衣室ではお互いの衣装を褒めあい、近況報告、まるで支部を越えての同窓会のようなようです。これから舞台に立つ緊張感は見られませんでした。ステージではスポットライトを独り占めし、程よい緊張感を楽しみました。会場からの惜しみない拍手は出場者の歌の楽しさの調味料です。令和七年一月の発表会はコロナ、インフルエンザ、肺炎と、トリプルで欠場

音楽はリフレッシュと癒し

児玉 悦子

令和六年十一月二十三日(土)晴天の紅葉輝く日に、人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターにおいて、「第十八回伊勢崎市民音楽祭」が開催されました。

音楽部門

者も多い中での開催でしたが、ご来場いただきました皆様方、役員の方、関連する皆様方のご協力の下につががなく終了し胸をなでおろした一日でした。

邦楽舞踊部門

日本伝統芸能の魅力を継承

川島 和美

今年もオーブニングは可愛らしい五名の子供たちによるお辞儀から「さくらさくら」の踊りで始まり、あどけない子供たちの所作が、会場の皆様の心を和ませて拍手喝采となりました。

演目が次から次へと進む中で、優雅で素晴らしい音色の琴の演奏と格調高い凛とした能の舞いと心身一如で表現する日本舞踊によって、会場も盛り上がりました。日本舞踊の楽しさは、扇一本と体で色々な役どころを表現できることです。

今回の演目の中でも、実際の小道具を持たず扇で踊っていらっしやる団体もあり、奥の深さを感じる次第です。例えば、「肝心要」という言葉がありますが、扇子の要は非常に重要な役割を果たしており、日本舞踊においても「要は腰の部分だ!!」と昔よく師匠に注意されておりました。



今は、子供の弟子にしっかりと伝えることが私の使命であり、またそれが師匠に対する恩返しと感じて稽古に向かっています。これからは、技術に勝る心で精進して参りたいと存じます。最後になりますが、今回第十七回を何事もなく無事にできましたこと、事務局を始め、関係者の皆様方には、心から感謝申し上げます。次第でございます。



【表紙説明】《粕川の鯉のぼり》

粕川の鯉のぼりは平成3年、赤堀南小学校の開校に伴い、新しく学校に通う子供たちを祝うために始まりました。4月から5月までの期間に約500匹もの鯉のぼりが掲げられます。センヨシセセらぎパーク(赤堀せせらぎ公園)南粕川沿いで、青空を元気に泳ぐ色とりどりの鯉のぼりを見ることができます。

吟剣詩舞部門

先が楽しみ

山下 美津子

第十八回吟剣詩舞の集いは、三月二十二日(土)、メガネのイタギ文化ホール伊勢崎・小ホールにおいて開催されました。この大会への参加者は十七団体、延べ百九十一名の出演者で、高齢化が進む中、昨年とほぼ変わらない会員が参加し、成功のうちに終えることができました。

今回の目玉として「キッズはじめて文化チャレンジ・吟剣詩舞体験教室」に参加した、下は四歳から上は中学生とその保護者計九名の練習の成果を初舞台で披露することとし、この日を目標とした三度の練習を重ねました。

出演時刻も、臂泰雄市長にご来席いただく予定時刻に合わせた編成としました。

そして、本番当日を迎えることとなりました。残念ながら内一名が体調を崩し欠席となり、八名での舞台となりましたが、会員が吟じる「富士山」に合わせた見事な舞を披露し、会場からも盛大な拍手をいただくことができました。

今後の成長が大いに楽しみです。このほか、一般会員による吟詠、詩舞、剣舞の発表に加え、賛助出演として、吟詠のほか華道、居合道、古武道の披露など盛り沢山な

郷土芸能部門

活動報告と御礼

菊池 広文

令和六年度も年間行事を滞りなく実施でき、ご協力いただきました会員の皆様、事務局、関係諸氏に御礼申し上げます。

郷土芸能部門の年間三大行事は「華蔵寺公園花まつり郷土芸能発表」、「いせさきまつり郷土芸能発表」、「郷土芸能大会」となっております。

今年度を簡単に振り返ってみたいと思います。

「華蔵寺公園花まつり」は令和六年四月七日(日)、桜も満開の中、臂泰雄市長・三好賢治教育長・新井哲郎文化協会会長にもお越



内容で、充実した一日を過ごすことができました。

今回の大会には、当協会の関係者以外の、近隣市からの来場者もあり、後日、その方たちから「伊勢崎の大会は毎年楽しみにしているが、いつも充実した内容で感心している。」との評価をいただきました。

たしかに、当市の文化事業は、周辺の市町に比べて充実度が際立っているようです。これからも、臂泰雄市長始め行政の皆様のご指導・ご支援をよろしくお願い致します。



民謡民舞部門

第十八回民謡民舞発表会を終えて

松本 春野

令和六年七月十三日(土) 第十八回民謡民舞発表会が人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで開催されました。これまで毎年二月に行われていた発表会が七月に開催されるのは画期的なことでした。次回は六月に開かれることに決まっております、今後は夏季に開催されるのではないのでしょうか。新たな気持ちで一步を踏み出せるのではと思っております。

今年のオープニングは宮子民踊会とまちだ連の皆様による伊勢崎ばやしの踊りで華やかに幕開けすることができました。まちだ連さんは新しく団体加入された民謡の会です。踊りの団体が少なくなっているなかに加入していただき、大変うれしくまた心強く思っております。今後のご活躍を期待しております。

プログラムにそつて民謡民舞の演目が次々と披露され、日頃の練習の成果が発表されました。出演される会員さんにとつて長年培ってきた民謡であり、演奏であり、踊りを観客の皆様に見ていただく最高の場所です。実を申し上げますと、もう年だからとか、体調に自信がなくなったからなどの理由

年の途中から約四年間務めていました。

役員決めのルール作りが必要との意見があり、今後は郷土芸能部門の役員は輪番制となりました。自分は来期も四役の一員である会報編集委員として役員に残留しますが、実行委員長、会計を全力でサポートし、郷土芸能部門を盛り立てていきたいと思っております。お世話になりました御礼を兼ね、活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。

洋舞部門

徒然に

高木 照子

いやあー！びつくりしたあー！こんなステキな会館が田んぼの中にあるなんて(失礼)。それは十年程前にフラのリハサルに訪れた時の第一印象でした。緑豊かで子供の遊具もあり、丘の緑が美しかったこと。調べてみますと、平成八年五月に開館したそうです。もう二十八年も経っているのですね。コロナ禍の時を除いて、今年もまた楽しい洋舞をご覧いただくことができ、各団体も競って日頃の成果をご披露する機会を得て練習にも力が入ったことでしょう。例年通り、レクダンス、ペルーダンス、フラ、そして新しくキッズレクダンスも加わり、あつという間



で出演することに二の足を踏むこともありました。それでもいざ舞台に立つて演技をしてみると、教室で稽古をしているだけとは違った達成感や充実感が得られて気分も高揚してやはり出演してよかったと楽しくなります。また次回に向けて頑張ろうと意欲がわいてきました。舞台にはそんな魔法の力があるのかもしれない。

私たちも年々高齢化してゆき新しく入会してくれる人もおりません。現在いる会員さん一人一人が体調と相談しつつ健康に気をつけて一日でも長く続けられる様にしていくほかはありません。そのためにも、一年に一回舞台に立つて背筋を伸ばし若々しい姿を見てもらおうとする意欲を持ち続けたいのです。年を重ねても新しいことを学ぶことは大事ですし、

の一日が過ぎてしまいました。各団体とも初めて見させていだいた時より数段、技術、ドレスが洗練されてきた様に思います。もう少し笑顔で踊るともつと素敵なのにそれが少し残念かな。そして何と言っても事務局が会議において予算案、パンフレット・ポスターの作成、役割分担、ネームプレートの作製等々にリハサルと当日のタイムスケジュール、受付係と進行係の人選等々、本当にお疲れ様でした。皆様には紙面にてお礼を申し上げます。観客の皆様が名残惜しそうに、けれど心うきうきして帰られたことと思います。これからも洋舞の会が末永く続くことを祈っております。そして健康でまた皆様に楽しんでいただけるよう、各団体も切磋琢磨して次回が迎えられるように願ってやみません。



(3)

また楽しくもあります。それが生涯学習であり、元気で長生きをする秘訣であると思っています。また次回に向けて頑張っていきたいと思います。

最後に、私たちがこうして発表の場をもてるのも事務局と人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターの職員、そして司会の唐澤さんの細やかな協力があつてのことでした。厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

余談ですが、今年の民謡民舞のプログラムがとても素敵でした。この会にふさわしいデザインで絵柄や色づかいなど素晴らしいと思いました。重ねてありがとうございます。



自然部門

展示会を終えて

青木 稔

今年の自然部門の展示会はいつより一週間遅れの十一月二十三日(土)～二十四日(日)に人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで開催されました。今年度参加団体は六団体で、伊勢崎菊花同友会は、日程が合わず参加できず大変残念でした。

今年は「キッズはじめて文化チャレンジ」の一環として、親子小品盆栽教室が初日に開催され、九組の参加がありました。ベニシタンを教材にミニ盆栽を作り、楽しむ様子が見られました。これを機会に愛好者が増えることを期待したいです。

(4)

今年は、世界的な異常気象に見舞われ、四月から高温となり、私が愛する日本の蘭系植物は、特に暑さに弱く、育てるのに大変苦労をしました。暑さ対策をどうするか、同好の先輩に聞いたり、本を読んだり、悪戦苦闘の一年でした。これは蘭系植物だけでなく、限られた空間、限られた容器を使って植物を栽培する愛好者の贅沢な苦しみかもしれません。

出展者の皆様の経験と愛情によって、いつもと同じように作品を仕上げ展示できました。

個々の団体は、季節ごとの展示会の開催や、各地の展示会に参加する等をして、研鑽をしております。

今年は、十一月二十三日(土)は音楽部門、二十四日(日)は郷土芸能部門との同時開催となり、大勢のお客様に参加していただきました。ありがとうございます。

この展示会の開催に当たり、伊勢崎市文化協会の関係者の皆様に感謝申し上げます。



諸芸部門

諸芸部門の活動

小谷 雅春

諸芸部門は囲碁、愛刀会、マジックの三つの部門があります。九月一日(日)にそれぞれの活動が行われました。

囲碁部門は「市民囲碁大会」を開催しました。

昨年に続き、第十回を実施することができました。臂泰雄市長、新井哲郎文化協会会長、上毛新聞特選基執筆者鎌田清氏の三名から挨拶をいただき、開催されました。四十六名の参加者を得て、三クラスに分かれ対局が行われました。今年度は、小中学生九名が参加し、それぞれのクラスで活躍しました。



Aクラスでは、大人のベテラン選手を退け、小学生の真下泰士郎さんが優勝、竹越昂さんが準優勝という成績をあげました。

Cクラスは、小学生の小林晴太さんが優勝、準優勝は今度は長老の高橋恭治さんが頑張りました。

Bクラスは、共にベテランの古沢正夫さんが優勝、永来雅さんが準優勝という成績でした。内容の濃い、楽しい対局が展開され充実した大会が開催されました。

この大会は、あずま囲碁愛好会、伊勢崎佐波囲碁会(日本棋院伊勢崎支部)、境囲碁研究会の三団体の運営のもとに、そして、事務局による会場設定により実施することができました。

伊勢崎マジッククラブは第二十二回マジックフェスティバル発表会を開催しました。

発表会では「昨年よりもレベルが上がったね」との声がありました。今回の発表者は、小学生を含む十二名です。主な出し物は、一部は「わんさかわんさか花いっぱい」、「人形の家」、「どじょう堀い」小学生の女の子にも出演してもらいま



もっとたくさんの人に味わってもらいたい欲しいです。

これからも健康に過ごし、好きな作品を数多く作りながら次回に向けて、楽しく励んでいきたいと思っています。

『人生楽しく生きようとする人 趣味好きの人あつまれー!』

書道部門

出品できる喜び

大貫 八生

伊勢崎市文化協会書道部門主催第十八回書道展が令和六年六月二十八日(金)三十日(日)人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターにおいて開催されました。漢字・かな・詩文書・篆刻の十三団体より百六十九名の出品がありました。

飾りつけでは、既に事務局により入念な壁面計算の基にパネルも設置され、とてもスムーズに展示することができました。出品者が日夜精進される中、バラエティに富んだ作品が並びました。作品づくりは思うように書けることも無く、最終的に一枚を選ぶ作品する。そんな繰返し、それでも自分にとっては精一杯の作品です。

書には数学や珠算のように正解はありません。それは書く側も、



した。二部は「中野家の朝食」、「赤と白の物語」、「フォーエバーチャップリン」、「ホワイトプロダクション」。観客は六百七十五人ほぼ満席です。昨年を大きく超えました。五月から月二回練習し、天晃マジック先生の指導を受けました。

愛刀会は刀剣展示会を一般展示室にて開催しました。前日の午後から会場準備をして、午前十時からの開場です。

日本刀の美しさは、実用的な武器としての役割を追求していく過程で、そのシンブルさの中にある緻密なデザインと計り知れない職人技にあります。その上品な形状や輝く刃、そして刃文と呼ばれる波模様には、見る人を魅了する不思議な力があります。さらに、刀身の光沢や鋼の硬軟を巧妙に使い分けた質感の違いからは、職人のこだわりが感じられます。これらの要素が調和し、日本刀は単

鑑賞する側も、個々の感性を持ち感じることも様々です。鍛錬された線、美しい余白、偶然生じた墨の妙、真剣に取り組まれた心溢れる作品、それぞれの書き手の心が表現されているのです。

生涯学習を唱えられてから久しい今、着実に私たちの生活に根付いています。書いている時は無になれる。辛い時も一瞬忘れることができる。共に学ぶ仲間と一喜一憂したら一つのことを楽しむことができること、歳を忘れ、時に歳を感じ続けていける私たちは幸せです。

展覧会を開催するにあたり御尽力いただいた新井哲郎文化協会会長、丸橋孝男書道部門実行委員長、そして温かくサポートしてくださった事務局に心より御礼を申し上げます。



なる武器ではなく、人々の心を打つ美術品、工芸品として輝きを放つのです。

私たち伊勢崎愛刀会会員はこの「鉄の芸術」、「鉄の華」とも言われる古墳時代から続く日本刀の美と伝統を保存し、未来に引き継ぐ為に努力をしています。展示場にお越しの皆様は美術刀剣の美しさを堪能していただけますよう企画し、展示しています。

今回の展示で良かったことは、普段は危険なため「刀剣には近寄っては駄目」みたいな雰囲気の中で行いましたが、「今回は自由に触ってもいいよ」というようなコーナーを設けてみました。これにはお子さんたちが大喜びでした。これからはこういった刀剣を身近に感じられるような展示にしたいと思っています。

来年も参加者をさらに増やし、開催されることを願っています。



元気でいること

美術部門

近藤 悦子

去年にも増して暑い日の続く、九月初めの週末、第十八回美術部門総合作品展が開かれました。高齢化の波が押し寄せ退会してしまつた団体、今回は出展を控えた団体があるなかで新たに加入した団体もあり、六団体の参加があり、展示室と展示ロビーの会場に芸術の秋に相応しく作品を飾りました。

原ノ城窯は陶器の持つどっしりとした趣の中に、細部にまで工夫の凝らされた水指があつたり、またユーモアあふれる題名と作品にほっこりしました。



紫墨会と境水彩画会の展示は、初めての試みとして、パネル板で区切らず、ワンフロアにて作品を見渡せるかたちとなりました。墨絵と水彩の持つ淡く柔らかな優しい雰囲気包まれ癒されました。フラワーアレンジメント華と天然石ビーズアクセHANA、新しく仲間入りした墨絵アートの三団体もワンフロアで展示しました。『花』で一体感を高め、多彩な材料を取り入れ飾り付けにも工夫がこらされ魅力ある作品が飾られ若い世代を惹き付けていました。

作品展は、出来上がった完成品を観ていただく発表の場ですが、作りためた作品の一つひとつに作者の物語があり、作りあげるそこへ到達するまでの作る人・描く人の過程や想いがあります。奥深さは一目見ただけでは読みとることのできないものがありますので、

写真部門

第十八回写真展を終えて

池田 育兒

毎年恒例の文化協会主催の写真展を令和七年三月二十日(木)の搬入に始まり、二十一日(金)二十三日(日)までの三日間一般公開し、来場者数が三百名ほどに上り、好評の内に無事終了できました。各クラブ会員の皆様はじめ事務局に厚く御礼申し上げます。作者が一年間努力された結果を大伸した写真に仕上げ、その迫力や表現力が個性豊かな作品となり、多く展示されました。ご来場された方々も心から感動されたことと推察いたします。

各クラブも高齢化が進み会員の減少も仕方ないことですが、

今回の展示会を通して入会希望者が多少でも出ればと期待しています。

また、三月八日(土)に少しでも写真に興味を持っていただければと、親子スマホ写真体験を伊勢崎市みらい公園にて開催しました。五組のご家族に参加をいただき、子供たちをはじめ両親の方々にも「大変楽しく過ごせました」とのありがたい感想を聞くことができました。スマホ用の広角レンズ・望遠レンズ・接写用レンズの貸し出し、会長からは卓花等々準備をいただき、親子スマホ写真体験を盛り上げてくれました。親子スマホ写真体験では当日の写真写真展会場に展示し、親子で来場されご自身の撮影した写真を見て喜ばれているのが印象に残っています。来年も参加したいとの声も聞きました。

写真の楽しさが伝わり写真愛好家が増えるとともに、各クラブ



の「雪兆豊年」の軸を掛けてみました。と申しますのは、昨今、話題の令和の米不足問題が私たちの日々の生活にも大きな影響を及ぼしている現状、そんな中での茶席の設えに、席主の思惑として、茶室に入られたお客様が、まず床に飾られた掛軸の「雪」の文字で涼を感じていただき、さらにこの軸の意味とする「雪の多い年は豊年の兆」であるという明るい希望、また期待で少しでも楽しいひとときを過ごしていただけたらと、会員一同願いを込めてお席を整えてみました。今後、お客様もまたお点前をする側も、マスクを着用せずに、お互いの表情を楽しみながら、どなたでも気軽にお茶を楽しんでいただける日が一日も早く来ることを願い、日々の稽古を一層励んでまいりたいと思います。



の会員増強につながり、写真文化の益々の発展と活躍を期待しております。



華道部門

いけばな展に出瓶して

高柳 純子

第十八回いけばな展が、人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターにて、令和六年七月十三日(土)～十四日(日)小原流・華道家元池坊・古流松藤会・草月流・松月堂古流蘭華・未生流の六流派の会員中、四十六名の出版で開催されました。

私の所属する古流松藤会では、江戸時代から続く古流いけばなの技を伝承し格調高い生花様式と、作者の創造性を自由に表現する現代華の二つの様式があります。生花は真・行・草と、形態により

花器・花材・花台敷板の取り合せやそれぞれの寸法に決まりごとがあり、奥が深いです。会員は「古流生花口訣抄」を読んだり、本部開催の生花講座に参加したり、日々勉強しスキルアップに努力しております。現代華は生ける人の感覚が織り込まれて形作られます。作品を構成する際に色彩・焦点・アクセント・スケール・ボリューム・ムーブマン・ハーモニー・コントラスト・リズムなどの項目で面や線の花材や花器の形や色を選択し作品を仕上げます。今回私の作品は、骨董市で手に入れた花器を使用し、花器と調和するような色の花材を選び作成しました。コロナ禍以降、花屋に依頼しても欲しい花が手に入らない時代です。花生産者が廃業して花屋さんも苦労しているようです。華道に携わる人達は自分で育てたり、知人にいただいたりして調達もしています。

今回皆さんの生けた作品も、生けた先生の性格や個性が出て感動する作品が沢山ありました。見たことのない花や創作的な手法技法で勉強になりました。また、華展が七月でお花が会期中保つか心配しましたが、そこは長年華道に携わっている先生方なので、花材を選び、開場前に手直しをし、会期中来場者に生き生きとした花の美しさ・香りで癒してくれたと思います。

事務局が立派な会場を準備してくださり、直に生け込みができ、

文学部門

第十八回文学祭に参加して

吉沢 典子

今年の文学祭は、令和六年七月十三日(土)～十四日(日)に、人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターにおいて、文学部門としては境図書館短歌会、伊勢崎市民俳句会、みさと短歌会、群馬童話研究会、紙芝居を楽しむ会が、作品展示を行い、日頃の活動の作品を展示しました。また、今年はキッズはじめて文化チャレンジと題して、短歌・俳句づくり体験を子供たちに呼びかけて、七月十三日(土)に、別室で開催しました。子供たちには、少し難しい内容かと思われ、心配しましたが、二人の姉妹(小学一年生と三年生)が参加してくれました。事務局が事前に用意してくださった手引書を基に短歌と俳句の違いを説明しました。



あまのがわ
そらにきれいに
かがやくよ

うんどう会
ゆうしょうしたよ
妙義団

初めての俳句作りを体験した姉妹は、俳句作りに興味を持ってくれたでしょうか！



また揚げ花時、出瓶者全員の協力でお花撤去もスムーズに終了しました。皆で楽しく仲睦まじく華展ができたことは、事務局のお力です。感謝しております。また次回が楽しみです。



茶道部門

暑い暑い初秋の茶会に

小澤 圭子

令和六年九月八日(日)文化協会茶会が人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで開催されました。

台風十号は、日本列島へ多くの影響を残し、テレビ等での痛ましい映像を目にするたび、地球温暖化による気候変動を思い知るところです。

茶会当日も、伊勢崎市においては、高い気温が一日中続く残暑ならず、猛暑程のものでした。着物姿のお客様には申し訳なく思うくらいでしたが、冷房の部屋での実施ですので、換気やコロナ対策等には細心の注意を払い準備等を行いました。

以前のように、お客様が全員マスクの着用が義務付けられてはいませんので、当日はマスクをつけていない方を数名お見受けいたしました。楽しそうな表情を見て、私たちも明るい気持ちで過ごすことができました。

私たちの茶席(江戸千家)では床の間に、大徳寺三千院寛州老師



新規加入団体

(敬称略)

- | | | |
|-------|-------------|--------|
| ○美術 | F刺繍倶楽部 | 入山 美智子 |
| ○音楽 | 女声合唱団 アマリリス | 三好 もとめ |
| ○邦楽舞踊 | 糺葉會 | 野口 延子 |
| ○吟剣詩舞 | 心彰流 吟眸会 | 小暮 利明 |
| ○民謡民舞 | まちだ連 | 梶山 時子 |
| ○洋舞 | ダンス ゆう | 茂木 徳子 |
| ○洋舞 | Rainbow | 飯島 由枝 |
| ○洋舞 | ノアメリア | 金井 順子 |
| ○自然 | 伊勢崎洋蘭クラブ | 田村 幸一 |
- 以上九団体が伊勢崎市文化協会に加入いたしました。

伊勢崎市文化協会への新規加入案内

伊勢崎市文化協会は、伊勢崎市における各文化団体の連絡調整を図るとともに活動を援助し、その向上発展に務め、本市における芸術文化振興発展に寄与することを目的としています。各地域で活動なさっている皆さんも加入を検討してみてはいかがでしょうか。

《入会資格》

- ・主に伊勢崎市で活動する団体
- ・五名以上で組織する団体

- | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 《部門》 | ①美術 | ②書道 | ③写真 | ④華道 |
| | ⑤茶道 | ⑥文学 | ⑦音楽 | ⑧歌謡 |
| | ⑨邦楽舞踊 | ⑩吟剣詩舞 | ⑪民謡民舞 | ⑫郷土芸能 |
| | ⑬洋舞 | ⑭自然 | ⑮諸芸 | |

の十五部門があります。

※常任理事会で承認を得て入会となります。

【個人がいずれかのサークルに入りたい場合】
《各サークルへの入会希望者》事務局まで希望の部門・サークル名をご連絡いただければ、サークル代表者との連絡をお繋ぎいたします。

○お問い合わせ・入会の申し込み先
伊勢崎市文化協会事務局(伊勢崎市産業経済部 文化観光課内)
Tel 0270・27・2758



詳しくはコチラ
市ホームページ
伊勢崎市文化協会の
ページをご確認ください

キッズはじめて 文化チャレンジ

みんなのはじめて
集めてみました♪



過去最多、10部門で実施

令和6年度は、10部門で「キッズはじめて文化チャレンジ」を実施し、多くの子供たちへ文化芸術に親しむ機会を提供しました。

また、新たな取り組みとして茶道・自然・吟剣詩舞・写真の4つの部門では、親子を対象に事業を実施。保護者も含めて文化芸術を楽しむ姿が見られました。

令和6年度実施実績

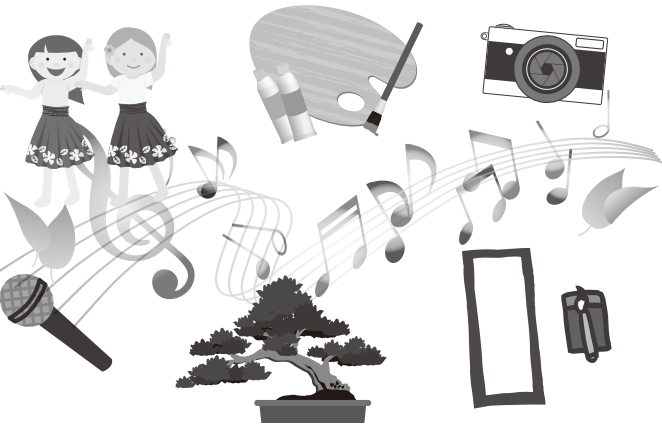
【日 程】

7/13(土)
7/27(土)～9/8(日)(全4回)
9/8(日)
11/2(土)～11/3(日)
11/23(土)
11/30(土)～3/23(日)(全8回)
2/9(日)～3/22(土)(全4回)
3/2(日)
3/8(土)

【内 容】

短歌・俳句づくり体験/マジック体験
レクダンス体験教室
おやこフラワーアレンジメント体験
こどもいけばな体験教室
親子小品盆栽教室
こども日本舞踊体験教室
吟剣詩舞体験教室
おいしく楽しく、親子茶道体験
親子スマホ写真体験

		団 体 名	代 表 者	会員数
洋 舞	1	JAあずまフラクラブ	細野 京子	10
	2	レクダンス三郷	永島 トシ江	15
	3	ハイビスカス豊受	重田 京子	11
	4	プアリリレフア	後藤 三佐子	10
	5	ハイビスカス赤堀	金井 比呂子	10
	6	ヒナノ	川澄 佳子	10
	7	ピカケ伊勢崎	都丸 美恵子	13
	8	Puanani	蜂須 京子	14
	9	レイモミ	村上 満寿江	10
	10	三郷小町	平田 敏江	14
	11	ロゼラニ	森田 衣代	6
	12	フラサークルパカラナ	吉田 千恵子	10
	13	‘Ohana Lōkahi	上岡 文子	60
	14	名和ナイスフラレディース	小暮 智枝	18
	15	フラグループ Nā Lei	清水 悦子	10
	16	カプア	入澤 のり子	12
	17	レクダンスKSG	石川 繁生	10
	18	Pasion Peru	竹原 ドラ	20
	19	レクダンス パープル	小澤 富士子	15
	20	ファイ オ ククナ	角田 憲子	15
	21	プアナニ ロケ	嶋崎 文枝	10
	22	レクダンス名和	吉田 喜美代	14
	23	ダンス ゆう	茂木 徳子	12
	24	Rainbow	飯島 由枝	6
	25	ノアメリア	金井 順子	10
		合計	2 5 団体	345
自 然	1	日本盆栽協会伊勢崎支部	阿久澤 嘉昭	13
	2	伊勢崎小品盆栽会	金井 由一	17
	3	伊勢崎山草会	島津 あけみ	4
	4	伊勢崎菊花同友会	小島 勝	18
	5	境山草会	原島 和生	17
	6	うえはす山野草の会	小野里 美恵子	10
	7	伊勢崎洋蘭クラブ	田村 幸一	11
		合計	7 団体	90
諸 芸	1	あずま赤堀囲碁愛好会	小保方 重吉	19
	2	伊勢崎マジシャンクラブ	菊地 正之	13
	3	伊勢崎愛刀会	新木 純夫	12
	4	伊勢崎佐波囲碁会	栗原 幾雄	60
	5	境囲碁研究会	小谷 雅春	20
		合計	5 団体	124
総計 179団体 4,208名				



		団 体 名	代 表 者	会員数
吟 剣 詩 舞	1	寿流 日舞詩舞 鶴登加会	山下 美津子	14
	2	寿流 日舞詩舞 鶴久紀会	原 けい子	20
	3	心彰流 伊勢崎吟詠会	阿久津 幸次	9
	4	吟道館流 伊勢崎吟詠会 緑陰の集い	関 勝巳	50
	5	吟道館流 上武吟詠会 那波の会	石田 英生	30
	6	美扇流 鶴緑会	齋藤 幸枝	4
	7	吟道館流 上武吟詠会 瑞雲の会	岡林 延夫	15
	8	吟道館流 伊勢崎吟詠会 芙蓉の会	小林 清浩	14
	9	吟道館流 伊勢崎吟詠会 東吟の集い	塩島 弘子	10
	10	吟道館流 伊勢崎吟詠会 華の会	松村 進	22
	11	心彰流 剣彰会	齋藤 ひとみ	15
	12	美心流 東栄諏訪美会	諏訪 勝美	12
	13	心彰流 あずま吟詠会	高橋 良作	15
	14	心彰流 あずま剣詩舞教室	白川 節子	10
	15	菊水流 菊崇会	田村 雅代	8
	16	日本詩吟学院 芙蓉会	小澤 まち子	16
	17	心彰流 吟眸会	小暮 利明	11
		合計	1 7 団体	275
民 謡 民 舞	1	旭星会	高野 邁	10
	2	旭星会三絃尺八クラブ	高野 邁	10
	3	天秋会	大谷 ヒデ子	10
	4	天秋会江原教室	江原 昌代	10
	5	秀月会	小峰 トシ子	10
	6	山輝稚会	森村 米多	10
	7	マズルカFD茂呂	松本 春野	16
	8	宮子民踊会	小暮 教子	5
	9	優乃会	水島 正枝	7
	10	まちだ連	梶山 時子	32
		合計	1 0 団体	120
郷 土 芸 能	1	伊勢崎交通安全協会女性部八木節部	松島 カツイ	18
	2	神谷八木節会	高木 栄	25
	3	赤堀郷友会	金子 英保	18
	4	田下八木節会	今井 照彦	25
	5	上武士八木節同好会	狩野 幸之助	17
	6	上渚名八木節保存会	長沼 圭一	17
	7	百々親友会八木節部	菊池 広文	57
	8	伊勢崎和太鼓	半田 孝	20
	9	荒木流拳法保存会	鈴木 清一郎	20
	10	木遣り保存会	細谷 幸雄	50
	11	千本木龍頭神舞保存会	大和 弘幸	27
	12	南北千木町屋台囃子保存会	丸橋 良一	35
	13	上州あずま太鼓会	須賀 正文	36
	14	氣楽流柔術保存会	水科 壽美	30
	15	下渚名獅子舞保存会	大橋 則之	18
	16	東新井獅子舞保存会	柄本 史朗	29
	17	東町囃子保存会	岡本 宇正	50
	18	女塚祭礼囃子保存会	真貝 豊	36
	19	栄町祭囃子保存会	福島 幹男	107
	20	三ツ木祭礼囃子保存会	室田 幸広	34
	21	上州・境雉子尾太鼓	柿沼 盈	46
	22	剛志民謡保存会	森村 清志	17
	23	赤堀ひごろも太鼓	吉田 和義	12
	24	美茂呂町屋台囃子保存会	村田 利雄	30
	25	上州国定睦	井上 潤	10
	26	福島町八木節保存会	本木 栄一	23
	27	群天星	稲川 真寿美	24
		合計	2 7 団体	831

令和7年度 伊勢崎市文化協会団体名簿

(令和7年5月1日現在)

		団 体 名	代 表 者	会員数
音 楽	1	伊勢崎市民吹奏楽団	岡本 亮太	48
	2	アイオーしんきん音楽部	菊池 綾花	16
	3	ISESAKI SMC BIG BAND	片岡 由佳莉	34
	4	早川歌謡バンド	中島 五郎	25
	5	合唱団コール・ルーエ	浜田 樹	29
	6	伊勢崎混声合唱団	眞藤 正志	19
	7	伊勢崎コーラス・ノイエ	菊池 美幸	32
	8	コーラス・ヴィオラ	佐藤 葉子	16
	9	伊勢崎第九を歌う会	櫻井 正彦	80
	10	混声合唱団 風	池田 昌子	22
	11	あすなろハーモニカクラブ	石橋 久	18
	12	凜	平田 康子	16
	13	オカリナ・響	高木 満知子	15
	14	コール ぽこ・あ・ぽこ	田中 悦子	28
	15	あんさんぶる22	下田 清子	12
	16	大正琴アンサンブル オリーブ	内田 晃美	15
	17	女声合唱団 アマリリス	三好 もとめ	11
		合計	1 7 団体	436
歌 謡	1	白樺会	阿久澤 キミ子	24
	2	櫻桃会	植木 昭一	23
	3	白川恵美歌謡学院境教室	北 サヨ子	113
	4	大国歌謡クラブ	荒井 通好	28
	5	清水歌謡教室	清水 巖	16
	6	植木歌謡教室	植木 春江	17
	7	ラッキーなかよし会	伊藤 ひろみ	25
	8	TAKESHIクラブ	井上 喜久寿	25
	9	歌謡教室ひばり会	田島 初美	13
	10	歌謡教室チェリー	奥積 房江	16
	11	TUTUJiクラブ	米山 とみ糸	21
	12	サークル・プルメリア	亀井 邦夫	22
	13	サークル・いろはにほ	川島 美重子	22
		合計	1 3 団体	365
邦 楽 舞 踊	1	伊勢崎邦楽舞踊協会	青山 正弘	60
	2	祐妃会	川島 かずみ	20
	3	悦紅会	飯塚 悦子	10
	4	扇優会	石倉 優美子	22
	5	吉三会	阿久津 テル子	10
	6	若駒会	星野 良枝	10
	7	成駒会	田所 陽子	12
	8	琴謡会	井上 明子	8
	9	美也珠会	小島 美也子	10
	10	日本舞踊あゆみ会	佐野 恭子	26
	11	樹凰会	小竹 淑子	10
	12	久紀の会	川端 和子	20
	13	ことほぎ	尾内 能利江	11
	14	好風会	角田 庸子	10
	15	ゆり枝会	高橋 ゆり子	8
	16	いせさき能実行委員会	齋藤 美智子	11
	17	たのしい舞踊の会	高山 晴江	10
	18	紅葉會	小此木 明子	30
		合計	1 8 団体	298

		団 体 名	代 表 者	会員数
美 術	1	紫墨会	石原 素子	13
	2	境水彩画会	須藤 勝子	16
	3	境フラワーアレンジメントサークル	齋藤 美智子	33
	4	フラワーアレンジメント華	栗原 幸子	15
	5	原ノ城窯	鈴木 茂	13
	6	天然石ビーズアクセHANA	近藤 悦子	10
	7	墨絵アート	茂木 徳子	12
	8	F刺繍倶楽部	入山 美智子	8
		合計	8 団体	120
書 道	1	清月書道会	福田 令子	40
	2	書道研究 墨鳴会	丸橋 孝男	50
	3	書藝研究会	北爪 真里子	8
	4	円かな書会	栗原 ウメ子	14
	5	玉葉会	石橋 満津枝	17
	6	昇雲会	藤枝 幹雄	30
	7	祥山書会	神宮 まり子	11
	8	書宝会	松本 近史	10
	9	雪月華書道会	高野 千春	10
	10	草友会	高柳 託治	9
	11	大蛙洞書道会	大貫 八生	17
	12	東光書道会	新井 哲郎	40
	13	渚名印社	大貫 勝利	10
	14	翠香会	根岸 幸子	23
	15	利根書会	町田 直美	17
		合計	1 5 団体	306
写 真	1	写団国定	神田 武	7
	2	写団チングルマ	永井 昇	15
	3	P.C アペックス	池田 育兄	10
	4	写真倶楽部ペーニャ	小倉 良枝	34
	5	[写心塾] A.P.C.	秋山 曄	11
		合計	5 団体	77
華 道	1	伊勢崎いけばな協会 桜	柳澤 三千代	100
	2	伊勢崎いけばな協会 松	石原 文子	100
		合計	2 団体	200
茶 道	1	伊勢崎茶道会 大日本茶道学会	宮澤 春江	106
	2	伊勢崎茶道会 江戸千家宗家	中島 澄子	120
	3	伊勢崎茶道会 表千家	加藤 茂美	150
	4	伊勢崎茶道会 裏千家	萩原 豊子	100
	5	伊勢崎茶道会 江戸千家	有川 よし子	30
		合計	5 団体	506
文 学	1	境図書館短歌会	光山 半彌	18
	2	群馬童話研究会	木村 幸江	15
	3	鈴木惣太郎を守る会	新藤 晁旦	45
	4	紙芝居を楽しむ会	新藤 靖	20
	5	伊勢崎市民俳句会	柴崎 光昭	17
		合計	5 団体	115

令和7・8年度 伊勢崎市文化協会常任理事名簿

役 職	氏 名	所属部門	敬称略
会 長	新 井 哲 郎	書 道	
副会長	丸 橋 孝 男	書 道	
〃	川 島 和 美	邦楽舞踊	
〃	石 倉 優美子	邦楽舞踊	
〃	菊 地 正 之	諸 芸	
書 記	柳 澤 三千代	華 道	
〃	原 けい子	吟剣詩舞	
会 計	永 島 トシ江	洋 舞	
〃	片 岡 由佳莉	音 楽	
監 事	小 倉 良 枝	写 真	
〃	栗 原 幸 子	美 術	
常任理事	鈴 木 茂	美 術	
〃	茂 木 徳 子	美 術	
〃	池 田 育 兄	写 真	
〃	石 原 文 子	華 道	
〃	有 川 よし子	茶 道	
役 職	氏 名	所属部門	
〃	萩 原 豊 子	茶 道	
〃	新 藤 靖	文 学	
〃	木 村 幸 江	文 学	
〃	岡 本 亮 太	音 楽	
〃	北 サヨ子	歌 謡	
〃	井 上 喜久寿	歌 謡	
〃	石 田 英 生	吟剣詩舞	
〃	調 整 中	民謡民舞	
〃	調 整 中	民謡民舞	
〃	丸 橋 良 一	郷土芸能	
〃	大 橋 則 之	郷土芸能	
〃	細 野 京 子	洋 舞	
〃	金 井 由 一	自 然	
〃	島 津 あけみ	自 然	
〃	栗 原 幾 雄	諸 芸	

令和6年度 伊勢崎市文化協会会報編集委員名簿

No.	役 職	氏 名	部 門	所 属	敬称略
1	委員長	石 田 英 生	吟剣詩舞	吟道館流 上武吟詠会 那波の会	
2	委 員	近 藤 悦 子	美 術	天然石ビーズアクセHANA	
3	委 員	福 田 令 子	書 道	清月書道会	
4	委 員	池 田 育 兄	写 真	P.C アペックス	
5	委 員	松 永 幸 江	華 道	伊勢崎いけばな協会 松	
6	委 員	有 川 よし子	茶 道	伊勢崎茶道会 江戸千家	
7	委 員	柴 崎 光 昭	文 学	伊勢崎市民俳句会	
8	委 員	下 田 清 子	音 楽	あんさんぶる22	
9	委 員	荒 井 通 好	歌 謡	大国歌謡クラブ	
10	委 員	飯 塚 悦 子	邦楽舞踊	悦紅会	
11	委 員	松 本 春 野	民謡民舞	マズルカFD茂呂	
12	委 員	金 子 英 保	郷土芸能	赤堀郷友会	
13	委 員	関 口 美代子	洋 舞	プアナニ ロケ	
14	委 員	青 木 稔	自 然	伊勢崎市蘭蕙愛好会	
15	委 員	小 谷 雅 春	諸 芸	境田碁研究会	

令和6年度 伊勢崎市文化協会賛助会員名簿

No.	賛 助 会 員 名	代表者等	住 所	電話番号	順不同・敬称略
1	ナイトスポット梵	久 保 美由紀	伊勢崎市上諏訪町 1257-1	0270-23-6867	
2	ギフトPR品のハロー商事	佐 藤 剛 史	伊勢崎市下蓮町 253-2	0270-32-6096	
3	伊勢崎ユネスコ協会	会長 長 沼 宏 泰	伊勢崎市今泉町二丁目 410	0270-27-2793	
4	川島美術印刷株式会社	川 島 和 美	伊勢崎市中町 760	0270-25-8111	
5	祐妃会	川 島 和 美	伊勢崎市今井町 377	0270-26-7580	
6	八代肉店	—	伊勢崎市大手町 4-8	0270-25-1960	
7	ふたば美容室	—	伊勢崎市野町 27-4	0270-62-5914	
8	カラオケスタジオ・ユー	荒 木 宥 子	太田市新田大根町 596	090-2240-4850	
9	清水生花店	清 水 秋 夫	伊勢崎市三光町 7-23	0270-26-8741	
10	東光書道会	新 井 祥 碩	伊勢崎市境米岡 685	0270-74-0533	
11	東観光バス株式会社	中 島 俊 幸	伊勢崎市境上刈名 1186	0270-76-5100	
12	有限会社田澤商店(セブンイレブン)	田 澤 透	伊勢崎市田部井町二丁目乙 1262	0270-62-0018	
13	細谷印刷有限会社	細 谷 昌 孝	伊勢崎市今泉町二丁目 939-5	0270-25-0193	
14	株式会社シンエイ	清 水 秀 明	伊勢崎市連取町 2355-5	0270-24-7245	
15	阿久津 幸次	—	伊勢崎市昭和町 4071	0270-23-8069	
16	カワバタ設計	川 端 俊 明	伊勢崎市八幡町 45-2	0270-25-8756	
17	有限会社保坂工務店	保 坂 正 男	伊勢崎市波志江町 3667	0270-24-1905	
18	西ひとみ社会保険労務士事務所	西 ひとみ	伊勢崎市田部井町一丁目 1166-20	0270-61-0570	
19	平井産業運輸有限会社	磯 定 雄	伊勢崎市平井町 1082	0270-62-4102	
20	株式会社桜井土建	櫻 井 明 江	伊勢崎市三室町 6148	0270-62-3650	
21	株式会社田村建設	田 村 知 幸	伊勢崎市小泉町 450-4	0270-63-3333	
22	有限会社ワイズ・プランニング	山 口 善 弘	伊勢崎市今泉町一丁目 1099	0270-24-5033	
23	大成ブロック興業株式会社	—	伊勢崎市西久保町一丁目 418	0270-62-1575	
24	フローリストみね	藤 井 栄	伊勢崎市曲輪町 15-10	0270-23-3628	
25	悦紅会	飯 塚 悦 子	伊勢崎市除ヶ町 382-11	0270-32-7023	



長年にわたり文化活動に多大な貢献をされてきた協会構成員の方々を表彰しています。

部 門	所属団体	氏 名	敬称略
美 術	フラワーアレンジメント華	入 山 美智子	
書 道	玉葉会	石 橋 満津枝	
写 真	写真倶楽部ペーニャ	若 林 美代子	
華 道	伊勢崎いけばな協会	板 垣 美 江	
文 学	伊勢崎市民俳句会	高 田 多加江	
音 楽	アイオーしんきん音楽部	菊 池 綾 花	
歌 謡	櫻桃会	植 木 昭 一	
部 門	所属団体	氏 名	
邦楽舞踊	伊勢崎邦楽舞踊協会	青 山 正 弘	
吟剣詩舞	寿流 日舞詩舞 鶴久紀会	児 島 美 江	
民謡民舞	マズルカFD茂呂	福 島 裕 子	
郷土芸能	神谷八木節会	小 林 好 夫	
洋 舞	ハイビスカス豊受	大 竹 正 子	
自 然	伊勢崎山草会	新 井 利 一	
諸 芸	伊勢崎マジシャンクラブ	牛久保 義 美	